



社協はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会 〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地（福祉ふれあい会館内）
TEL058-391-0631 FAX058-391-0632



紹介 P2

・新年のご挨拶 ほか

紹介 P3

・災害ボランティアセンターの設置、
運営等に関する協定 ほか

紹介 P4

・福祉協力校活動紹介
自分たちができることって何だろう 中央小学校

紹介 P5

・羽島市で見つけた地域のお宝

募集 P8

・ふれあいインフォメーション

No.

226

2022.1.1

隔月発行

今回の表紙：平方ふれあいサロン（福寿町）
～干支の置き物作り～

新年のご挨拶



社会福祉法人羽島市社会福祉協議会

会長 中 畑 弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は羽島市社会福祉協議会の活動に対し多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は依然として、新型コロナウイルス感染症が国内外を問わず広がりを見せ、今もなお、対面での接触到に制限を強いられています。このことで、家の中で閉じこもりがちになり、人と人とのつながりがより希薄化しています。

このような中、本会では、「みんなで創る 地域共生のまち はしま」を基本理念とする「第4期羽島市地域福祉活動計画」を策定し、本年度より推進しております。

この基本理念には、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域の誰もが役割を持ち、お互いが存在を認め合い、支え合うことで、孤立せずに自分らしい生活を送ることができるまちを創っていききたいという思いが込められています。そして、この理念の実現のためには皆様のご理解とご協力が必要です。

つきましては、会員の皆様のご支援と地域福祉活動への積極的な参加をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

パラリンピックで話題の

ボッチャを体験！

10月13日(水)に、障がい者への理解を深め、同じ地域に暮らす障がい者を取り巻く福祉課題に関心をもつきっかけづくりを目的に、ボッチャの体験会を開催しました。

ボッチャとは、ヨーロツパで障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目の一つです。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、

この体験会に市内から20名を超える方が参加し、チームに分かれて熱い戦いを繰り広げました。

多くの参加者が、障がい者への理解を深めることや、障がい者を取り巻く福祉課題に関心を持つきっかけにつながると思う、と感じられたようです。



▲誰もが楽しめる！

災害ボランティアセンターの設置、運営等に関する協定を羽島市と締結しました

羽島市社会福祉協議会と羽島市が締結したこの協定は、災害時に災害ボランティアセンターを設置・運営するにあたっての取り決めや、平常時からの協力体制等について定めたものです。

災害時は、早期の復旧活動のため迅速に災害ボランティアセンターを設置し、円滑にボランティア活動を始められるように体制を整える必要があります。そのため、本会は羽島市と連携し、災害に備える体制作りの強化を進めて参ります。

ボランティアセンターの設置運営にかかる協定締結式

羽島市・羽島市社会福祉協議会

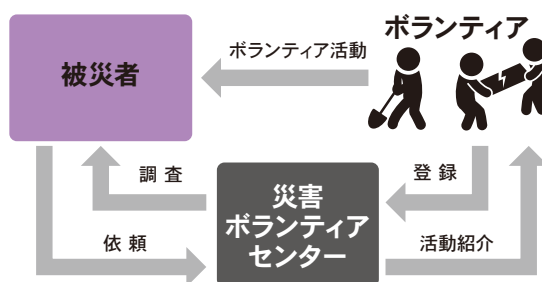


▲松井聡羽島市長(左)と中畑弘羽島市社協会長(中)と水谷政明羽島市社協副会長(右)

災害ボランティアセンターとは

災害ボランティアセンターとは、ボランティアによる支援が必要な被災者と、ボランティア活動をしたい人とをつなぐ拠点のことで、災害ボランティアの活動を円滑に進められるよう設置されます。

被災者は家屋の掃除や土砂の運搬など、支援して欲しい内容をセンターに依頼します。それを受けたセンターは、ボランティアにその依頼内容を割り振るなどの調整を行います。



▲災害ボランティアセンターの動き

役に立つのは知識と経験

「災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施」

羽島市が大規模災害に見舞われた場合、主に本会の職員が災害ボランティアセンターの設置や運営を行います。

そのため、定期的に訓練を行い、知識を蓄えることで、羽島市が被災した際は迅速に対応できるよう、備えています。

コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営

今回の訓練は、「コロナ禍にある状況で被災した場合」という想定で、ボランティア役とセンターの運営スタッフ役に分かれて行いました。

ボランティアの受付から活動終了までの流れを通して行い、通常との違いを確認しました。

活動終了までの流れを通して行い、通常との違いを確認しました。

普段からのつながりを大切に

つながりを大切に

コロナ禍では、感染を避けるため、遠方からのボランティアの参加を制限することがあります。そのため、地元の住民同士が支援活動を行ったり、近隣同士で助けあい活動をしたりすることがより重要になります。被災した際には、「共助」ができるよう、つながりが大切になります。



▲訓練の様子

自分たちにとて何だろう

羽島市立中央小学校

中央小学校では、4年生の総合的な学習の時間や、5・6年生の福祉委員会の活動において、福祉教育を実践しています。今回は4年生の総合的な学習の時間の取組を紹介します。

福祉って何だろう

「福祉とは何か」と問われたとき、的確に答えることは大人でも難しいことだと思えます。福祉には様々な形があります。大人が「福祉とはこういうものだ」とその一面を児童に教えたとしても、それは思考も主体性もないただの知識で終わってしまいます。そこで、4年生では、まず児童一人一人が考える「福祉」をイメージマップにまとめました。お年寄りの方、

羽島市にはどんな福祉があるのだろうか

障がいがある方など、児童の具体的なイメージがたくさん出てきました。児童は、仲間との対話を通して福祉のイメージを「しあわせにつながるもの」としてまとめ、探究を進めました。

続いて児童は、自分たちが住んでいる羽島市にはどんな福祉の取組があるのかを調べるために、羽島市役所の方と対話をしました。



▲羽島市役所の方との対話活動



▲岐阜羽島駅周辺を探検している様子

また、自分たちの目で確かめてみたいという願いから、岐阜羽島駅周辺で福祉を見つけに出かけました。

音が出る交差点の信号や点字が使われた案内板などを見付けて、「こんなところでみんながしあわせに生活するための工夫があるんだ」と考えを深めていました。

その後、福祉施設の方と対話をしたり、夏休みの延長期間にはパラリンピックについて調べて新聞を書いた。

たりして「しあわせにつながるもの」についての考えを深めていきました。

自分たちにとて何だろう

福祉施設の方との対話の中で、その方は「羽島のしあわせのためにはみんなの若い力が必要です!」と話されました。児童は、この言葉から「自分たちにも何かできるのではないか」、「誰かのしあわせにつながることをやりたい」と考えました。

そこで、各学級で自分たちとてできることを考え、取り組みました。ある学級では特別支援学校との交流、ある学級では手話が必要なたちとの交流について考えました。そんな様々な交流の中から今回は高齢者福祉施設の方との交流を紹介します。

コロナ禍ということもあり、活動に注意が必要ですが、さすが今の時代を生き



▲高齢者福祉施設での交流の様子

る児童たち、自分たちで考えて工夫をしています。今回は、ハロウィンが近いということでハロウィンの飾りを作って届けに行きました。お年寄りの方に手渡して、「ありがとうね」と言ってもらった児童はとても満足そうでした。その児童の振り返りには「これからもっと人を大切に生きていきたい。誰かのために何かできる人になりたい」と書かれていました。こういう経験がきっかけで、誰かのために何かしようとする素敵な人間に成長していつてほしいと思います。

羽島市でつけた **地域のお宝**

地域には、自然発生的な人と人とのつながりや支え合いが存在しています。羽島市社会福祉協議会では、これを「**地域のお宝**」と呼んでいます。このお宝が持つ意味を考え、今のつながりを維持することの大切さを意識することで、地域の支え合いに位置づけることができます。

～正木町曲利地区で発見!!

「曲利昼卓球倶楽部」～

曲利公民館の前を通ると、何やら元気な声が聞こえてきます。訪問すると、高齢者の方が卓球を楽しんでいらっしやいました。

ここでは、毎週月曜日と水曜日、9時～11時30分まで卓球を行っています。15年程前、健康づくりのために6名からスタートしたこの集まりは、□コミにより、現在は35名まで会員が増えました。

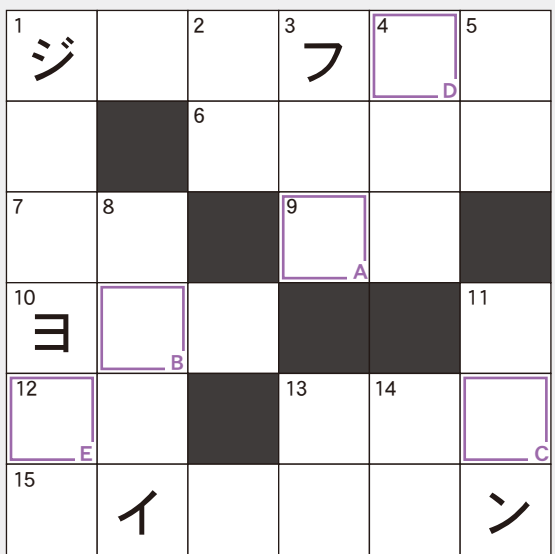
ゲームの相手を代えながら1ゲーム10分のラリーを楽しみます。中には、10ゲームを超える元気な方もいらっしゃいます。みんなで準備をして、卓球をして汗をかき、誰かとおしゃべりして笑い、みんなで片付けをして帰る…あっという間に時間が過ぎていきます。

「頭も目も足も使うから、良い運動になる」「みんなと笑いながら、楽しくやれるのがいいね」「家の近くに運動できる場があってうれしい」などといったお話を聞くことができました。



同じ地域に住む人同士の元々のつながりによって、誘い誘われ、新たな人とのつながりが生まれています。定期的に仲間と顔を合わせることで、自然とお互いを気にかけて合う関係も築けているかもしれないと感じました。

脳トレ
クロスワードパズル



クロスワードを解いてアルファベットのマス
を順番に並べてできる言葉は何でしょう。

※答えは6ページの下にあります

【タテのカギ】

1. 商工業、金融など経済的な事業を営む人
2. 気分が落ち込むこと
3. 地域包括支援センターには原則として、社会〇〇〇士がいます
4. 〇〇〇はさておき本題に入ろう
5. 海に住む、いがぐりのような姿の生き物
8. 「社協」は「〇〇〇〇福祉協議会」の略称です
11. 生活福祉〇〇〇特例貸付の申請期限が、3月末まで延長されました
13. 乗り物に乗らずに歩いていこう
14. 日本庭園にある〇〇のなかで鯉が泳ぐ

【ヨコのカギ】

1. 18歳までの児童をひとり親で養育している
方を対象とした、○○○○○○○手当
6. 醤油と砂糖で甘辛く煮付けた食べ物。イナゴの○○
○○
7. 機械等の専門技術をもつ職業の人。エンジニアとも
9. 大流行しているウイルスは、○○型コロナウイルス
10. 事前に約束しておくこと。病院の○○○
12. 昆虫類が成長して蛹や幼虫から成虫になること
13. 緊張がゆるんだ時に出る息。ため息とも
15. 要介護認定を受けて介護サービスを利用するとき
に、この保険が適用されます



高齢者の介護に関するお役立ち情報



「地域包括支援センター」って名前は聞いたことがあるけれど、
どんなところなの??

地域包括支援センターは身近な高齢者の総合相談窓口です。
高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健やかに安心して生活
できるようにサポートしています。高齢者ご本人だけでなく、その
ご家族や地域の皆さんからの相談にも応じています。



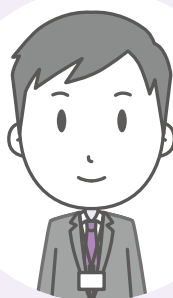
地域包括
支援センター

地域包括支援センター

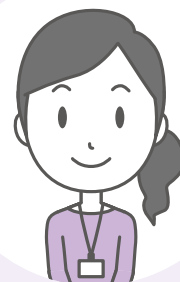
私たち専門職が連携してサポートします



保健師



主任介護支援専門員



社会福祉士

介護予防や介護保険等さまざまな制度のご相談、介護保
険サービスの利用調整、高齢者の人権や財産を守るための
権利擁護や虐待防止等の各種ご相談を受け付けています。

日常生活の中で、不安なことや困っていることがあれば、
お気軽にご相談ください。

地域包括支援センターでは、
高齢者のみなさんの介護、健康
や福祉、医療に関するご相談を
受け付けています。
お気軽にお電話ください!!



羽島市地域包括支援センター
（高齢者総合相談センター）

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館1階



児童センター だより



あけましておめでとうございます
今年もよろしくお願いします



児童センターおひなさま会

親子で楽しみましょう♪

【日 時】 2月2日(水)10:30～11:30

【場 所】 児童センター アリーナ

【内 容】 おひなさまクラフトなど

【対 象】 乳幼児と保護者

【定 員】 25組 【参加費】無料

【申込期間】 1月5日(水)～19日(水)

【申込方法】

開館時間内に、専用申込用紙に記入して児童センターの申込箱に入れてください。

定員以上の申し込みがあった場合は、公開抽選を行います。



はっぴーサロンコーナー

「1月・2月の行事予定」

★健康チェック(身長体重測定)

1月6日(木)・2月22日(火)

★みんなDeくらふと

1月12日(水)・1月14日(金)

2月1日(火)・2月3日(木)

★お誕生日手形スクラップブック

(1月生まれ)1月21日(金)

(2月生まれ)2月18日(金)

★おもちゃ病院(おもちゃの修理をしています)

1月19日(水)・2月16日(水)

★和！いいね

～節分～ 1月25日(火)・1月26日(水)

～おひなさま～2月15日(火)・2月17日(木)

★読みきかせ講座 かりんとうさんとあそびまSHOW

1月27日(木)・2月24日(木)

※時間は全て10:30～11:30

(ただし、おもちゃ病院は10:00～12:00)

※行事は全て予約制で、定員になり次第締め切ります。
予約日・定員等についてはホームページをご覧ください。

※将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。お気軽にお問い合わせください。

あそびケーション

【日 時】 ①1月8日(土)14:00～15:00

②2月19日(土)14:00～15:00

【内 容】 ①バレンタインクラフト

②おひなさまクラフト

【対 象】 小学生以上10名

【参加費】 無料

【予 約】 ①12月25日(土)～(予約受付中)

② 1月29日(土)～

定員になり次第締め切ります。

はしま子育て支援チームの活動

「子育て講座」

【日時】 2月16日(水) 10:30～11:30

【場所】 羽島市福祉ふれあい会館 2階

【講師】 三神廣子先生

お問合せ: ☎090-3447-8082(馬場)

お気軽にご参加ください。

※1月の「子育て講座」はお休みします。

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター (羽島市福祉ふれあい会館4階)

☎391-1226 FAX391-1622

e-mail: jidokan@hashima-shakyo.or.jp

インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>

休館日: 毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

2月5日(土)～2月10日(木)は停電に伴い休館です。

ボランティア募集

上中町でZOOMを使った「オンラインふれあいサロン」を試行的に実施しています。これに参加される方のタブレット端末等の操作をお手伝いしていただけるボランティアを募集します。

活動日時 1月27日(木) 13:00～14:30

活動場所 上中コミュニティセンター2階

活動内容 参加者のZOOMの基本的な操作(ミーティングIDの入力、ミュート設定や解除等)の支援等

備考 ①1月24日(月)までに下記までお知らせください。

②「オンラインふれあいサロン」は、コロナ禍でもつながりを絶やさないことを目指した取り組みです。

〈お問い合わせ先〉

羽島市社会福祉協議会 地域福祉課
☎391-0631 8:30～17:15(土日祝日除く)
E-mail:fukushi@hashima-shakyo.or.jp



羽島市社会福祉協議会

職員募集

①介護支援専門員【正規職員1名】

(居宅介護支援事業所)

・介護支援専門員資格及び自動車運転免許を有する方

②相談支援専門員【嘱託職員1名】

(指定障害児相談支援事業所)

・保育士資格または保健師免許及び自動車運転免許を有する方

◎申込方法等、詳細は本会ホームページまたは下記までお問い合わせください。



①ふれあい介護支援センター ☎394-4505

②発達支援センター相談室も ☎392-6125



募集

介護予防ボランティア養成講座

自分が住む地区などで、介護予防の場を立ち上げ、運営する人を養成することを目的に開催します。

対象 介護予防の場の設置に向けた話し合いや運営に携われる方

実施日 2月3日～3月24日
毎週木曜日(全8回)
時間 13時30分～15時30分

※3月10日・17日は、13時～15時に行います。

会場 羽島市福祉ふれあい会館

申込方法 本会事務局へお越しになるか、または電話にて申込みください。

申込締切 1月28日(金)



年末年始休業・停電に伴う休館について

① 年末年始休業

12月29日(水)～1月3日(月):全館

② 停電に伴う休館

2月5日(土)～2月10日(木)

・児童センター及び発達支援センター「発達教室もも」

※「相談室もも」は電話相談のみ対応いたします。

★行事・講座等の日程を変更・休止する場合があります。

◆本会への寄付
匿名2件
(10月16日から12月10日まで)

ありがとう！
あったかハート



「社協はしま」は共同募金の配分金により作成しています。
本紙に掲載の写真の一部は「はしま写真会」により撮影されたものです。